



The Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation

第12回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部学術集会

テーマ

呼吸ケア・リハビリテーションの 未来を描く

6月19日土

会期 2027年

会場 山梨県立大学 池田キャンパス
山梨県甲府市池田 1-6-1

第12回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会甲信越支部学術集会

会長 深澤 一裕 (大久保内科呼吸器科
クリニック副院長)

▶演題登録・参加申込に関するご確認、本学術集会に関するお問い合わせ等は、大会ホームページからお願いします。

大会ホームページ ▶ <https://12th.jsrcr-kse.jp/>

事務局 山梨県立大学看護学部
〒400-0062 山梨県甲府市池田 1-6-1 担当：高岸 弘美

運営事務局 株式会社成進社印刷
〒390-0815 長野県松本市深志 2-8-13 担当：田村 達治



第12回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会甲信越支部 学術集会 開催にあたって



会長 深澤 一裕

大久保内科呼吸器科クリニック副院長

このたび、第12回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部学術集会を2027年6月19日(土)に山梨県甲府市で開催する運びとなり、「呼吸ケア・リハビリテーションの未来を描く」を学術集会のテーマといたしました。

山梨県では2016年4月に昭和大学富士吉田教育部 教授の田中一正先生が山梨県呼吸ケア・リハビリテーション研究会を立ち上げ、山梨県内の多職種での研修会の土台を作られました。会の活動はその後さらに活発になり、白根徳洲会病院(現在は赤坂台病院長)の河西富彦先生と続き、その次は私が代表を拝命し、現在は山梨県立中央病院の筒井俊晴先生が代表を引き継がれ、コロナ禍でのオンライン研修会の開催も強みとなり全国から毎回参加者が集まる研修会となりました。そのような活動をきっかけに、医療現場での呼吸ケアへの関心が高まり、県内の呼吸ケアに携わる医療職の交流が活発になりました。

呼吸不全の患者様に対しては、酸素療法、人工呼吸、排痰・呼吸リハビリ、栄養管理などそれぞれの柱に医師、看護師、理学療法士・作業療法士や臨床工学技士などのコメディカルスタッフ、薬剤師、管理栄養士および事務職も含めた多職種連携が医療現場で進んでいます。患者様の症状を軽減し、少しでも日々の生活を前向きに充実したものとして過ごしていただけるような呼吸ケアについて、疾患の病態や治療法の理解、適切な医療機器の選択、患者教育や症状緩和をはじめとした看護ケア、薬物療法、理学療法をはじめとするリハビリテーション技術などを多職種で学び、活発な意見交換を行えるような場の提供を今回の学術集会の目標といたしました。

富士山やワイン、温泉、季節の果物を楽しむ観光が自慢の山梨県です。今回もハイブリッド方式での開催を予定し、会場は山梨県立大学池田キャンパスをお借りしました。多くの方に山梨にお越しいただきまして、参加者同士で活発な意見交換ができるような学術集会となりますよう、皆様のご参加をお願いし、お会いできることを楽しみにしております。

会場案内

会場：山梨県立大学池田キャンパス 〒400-0062 山梨県甲府市池田 1-6-1 TEL.055-253-7780



■本学術集会で取得可能な単位(予定)

- 呼吸ケア指導士認定単位取得：出席者 10 単位、発表者 10 単位
- 3学会合同呼吸療法認定士資格更新単位取得について
 - a. 出席 20 点
 - b. 座長 20 点
 - c. 呼吸療法に直接関連した演題の第 1 演者 20 点、共同演者 10 点
 - d. 講師として講義・講演した場合 30 点

※確定次第、詳細をホームページに掲載いたします。

▶本学術集会に関するお問い合わせは、大会ホームページからお願いします。

<https://12th.jsrcr-kse.jp/>